

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【公開番号】特開2011-89734(P2011-89734A)

【公開日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2009-245030(P2009-245030)

【国際特許分類】

F 25 D 23/06 (2006.01)

【F I】

F 25 D 23/06 W

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月25日(2012.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外箱と内箱の間に発泡系断熱材と真空断熱材とを備え、少なくとも冷蔵室と冷凍室と野菜室を有し、前記冷凍室が前記冷蔵室と野菜室に挟まれて配置された冷蔵庫において、前記冷蔵庫側面の外箱内面に前記冷蔵室と冷凍室と野菜室に跨る真空断熱材を配置し、前記発泡系断熱材の厚い部分については、厚み方向の真空断熱材の占有率を大きくして、前記発泡系断熱材の厚さの差を小さくしたことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項2】

外箱と内箱の間に発泡系断熱材と真空断熱材とを備え、少なくとも冷蔵室と冷凍室と野菜室を有し、前記冷凍室が前記冷蔵室と野菜室に挟まれて配置された冷蔵庫において、前記冷蔵庫側面の外箱内面に、前記冷蔵室と冷凍室と野菜室に跨る第一の真空断熱材を配置し、前記発泡系断熱材の厚い部分には、前記第一の真空断熱材の厚さ方向に、第二の真空断熱材を重ねて配置したことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項3】

前記第二の真空断熱材が多角形を成し、少なくとも3つの端部が前記第一の真空断熱材の端部と重ならないように配置したことを特徴とする請求項2記載の冷蔵庫。

【請求項4】

前記第一及び第二の真空断熱材が、少なくともガスバリヤ性を有する多層ラミネートフィルム製の外被材と、柔軟性を有する纖維集合体を合成樹脂フィルム製の内袋で覆った芯材とからなり、少なくとも前記第一及び第二に真空断熱材の片面の外被材を金属箔レスとしたことを特徴とする請求項2又は3記載の冷蔵庫。

【請求項5】

前記第一及び第二の真空断熱材は、前記外被材最外層の表面張力を少なくとも35N/m以上とし、ホットメルト系接着剤或いは二面テープで前記第一と第二の真空断熱材が直接貼り合わされていることを特徴とする請求項2乃至4のいずれかに記載の冷蔵庫。